

2011年3月期第3四半期決算 主要建設会社決算分析



2011年3月10日

財団法人 建設経済研究所

目次

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
 - ①受注高
 - ②売上高
 - ③売上総利益
 - ④販売費及び一般管理費
 - ⑤営業利益
 - ⑥経常利益
 - ⑦特別利益・特別損失
 - ⑧当期純利益
 - ⑨有利子負債
 - ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ
 - ⑪キャッシュフロー

1. 調査の目的

財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別・経年的に比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信から判明する2010年度の財務指標の分析を提示するものです。なお、分析対象会社の一部は12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 財団法人 建設経済研究所 研究理事 山口 悦弘
研究員 小室 隆史
岡田 康男
江村 隆祐

電話:03-3433-5242 FAX:03-3433-5239

2. 今回の分析対象会社

(1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設業者を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと

(2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つに階層に分類した。

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組	4社
準大手	2000億円超	長谷工コーポレーション、戸田建設、西松建設、三井住友建設、前田建設工業、五洋建設、フジタ、熊谷組、東急建設、奥村組、安藤建設、ハザマ、東亜建設工業	13社
中堅	2000億円未満	銭高組、浅沼組、福田組、鉄建建設、東洋建設、大豊建設、飛鳥建設、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、ナカノフドー建設、東鉄工業、大本組、矢作建設工業、若築建設、松井建設、大和小田急建設、名工建設、不動テトラ、北野建設、大末建設、徳倉建設、植木組	22社

注) 対象会社・階層分類については、「2011年3月期第1四半期決算主要建設会社決算分析(当研究所2010年9月14日公表)」発表時に見直しを実施。同一年度内での見直しは実施しないことから、対象会社・階層分類とも、「2011年3月期第1四半期決算主要建設会社決算分析」と同様である。

3. 報告要旨

- 受注高(単体)は、建築の増加の一方で土木の大幅な落ち込み、全体では前年同期比0.5%の増加となった(建築3.3%増、土木▲10.6%減)。全体としては、前年同期とほぼ同水準であるが、二桁受注増の企業もあれば、二桁受注減の企業もあり、受注方針の違い等から受注高の増減は、二極化の傾向となっている。
- 売上高は、前年度の受注高減少に伴う、年度繰越工事の減少の影響もあり、対前年同期比▲14.3%と減少した。
- 売上総利益については、各社の採算性を重視した選別受注と工事採算の改善努力により、利益額、利益率とも改善した。
- 円高の進行に伴う為替差損が多くの企業で計上され、経常利益へ大きなインパクトを与えている。総計で約151億円の計上されている。
- 売上総利益の改善、販管費の削減等により各階層で黒字となった。但し、全39社中8社が当期純損失である。(前年同期は全39社中9社が純損失)

4. 主要分析結果

①受注高(単体:受注高合計)

単位:百万円

受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	3,912,287	(対前年同期比)	2,342,065	(対前年同期比)	1,252,025	(対前年同期比)	7,506,377	(対前年同期比)
09年度3Q累計	2,446,762	-37.5%	1,896,065	-19.0%	1,021,974	-18.4%	5,364,801	-28.5%
10年度3Q累計	2,483,222	1.5%	1,895,323	0.0%	1,012,995	-0.9%	5,391,540	0.5%

- 受注高(単体)は、全体で対前年同期比0.5%の増加となった。内訳は、建築3.3%の増加、土木▲10.6%の減少となっており、土木で大幅に落ち込んでいる。
- 前年同期とほぼ同水準であるが、二桁受注増の企業もあれば、二桁受注減の企業もあり、受注方針の違い等から受注高の増減は、二極化の傾向となっている。

受注高(単体:建築)

単位:百万円

受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	2,895,812	(対前年同期比)	1,633,509	(対前年同期比)	762,931	(対前年同期比)	5,292,252	(対前年同期比)
09年度3Q累計	1,881,318	-35.0%	1,259,469	-22.9%	579,603	-24.0%	3,720,390	-29.7%
10年度3Q累計	1,872,224	-0.5%	1,336,492	6.1%	635,475	9.6%	3,844,191	3.3%

- 建築の受注高は、全体では対前年同期比3.3%の増加となったが、二桁受注増の企業もあれば、二桁受注減の企業もあり、受注方針の違い等から受注高の増減は、建築分野についても二極化の傾向となっている。
- 製造業や医療福祉分野を中心に持ち直し傾向が続いているが、2008年度と比較すると低い水準である。

受注高(単体:土木)

単位:百万円

受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度3Q累計	851,225	(対前年同期比)	678,075	(対前年同期比)	484,156	(対前年同期比)	2,013,456	(対前年同期比)
09年度3Q累計	514,997	-39.5%	617,158	-9.0%	432,801	-10.6%	1,564,956	-22.3%
10年度3Q累計	492,888	-4.3%	533,445	-13.6%	373,114	-13.8%	1,399,447	-10.6%

- 土木の受注高は、各階層で減少となり、総計で対前年同期比▲10.6%と大きく減少した。
- 2011年1月に当研究所が発表した政府土木投資は、2010年度で対前年度比▲17.8%、2011年度で▲2.5%と予想しており、今後も厳しい環境が続くとみられる。

②売上高(連結)

単位:百万円

売上高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上高	(対前年同期比)	売上高	(対前年同期比)	売上高	(対前年同期比)	売上高	(対前年同期比)
08年度3Q累計	4,885,819		2,932,372		1,470,167		9,288,358	
09年度3Q累計	4,357,880	-10.8%	2,592,354	-11.6%	1,444,653	-1.7%	8,394,886	-9.6%
10年度3Q累計	3,455,924	-20.7%	2,432,006	-6.2%	1,303,024	-9.8%	7,190,954	-14.3%

売上高通期予想/3Q達成率

	大手		準大手		中堅		総計	
	通期予想	3Q達成率	通期予想	3Q達成率	通期予想	3Q達成率	通期予想	3Q達成率
10年度通期	5,250,000	65.8%	3,626,000	67.1%	1,954,100	66.7%	10,830,100	66.4%

- 売上高は、前年度の受注高減少に伴う、年度繰越工事の減少の影響もあり、対前年同期比▲14.3%と減少した。
- 各階層で売上高は減少傾向にある。前年度の受注減少割合が大きかった影響により、「大手」の売上が▲20.7%と大幅に減少した。
- 売上通期予想に対する達成率は、総計で66.4%となっており、予想を達成できるか不透明な状況である。

③売上総利益（連結）

単位：百万円

売上総利益／売上総利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
08年度3Q累計	270,095	5.5%	202,091	6.9%	105,554	7.2%	577,740	6.2%
09年度3Q累計	303,283	7.0%	204,047	7.9%	118,064	8.2%	625,394	7.4%
10年度3Q累計	318,806	9.2%	210,048	8.6%	108,154	8.3%	637,008	8.9%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	12.3%	1.0%	11.9%	8.2%
10年度3Q累計	5.1%	2.9%	-8.4%	1.9%

- 売上総利益は、各社の採算性を重視した選別受注と工事採算の改善努力により、利益額、利益率とも改善した。
- 売上総利益率については総計で1.5%ポイント上昇した。
- 資材価格は、今年度前半は下落傾向であったが、現在上昇傾向であり、今後利益を圧迫する懸念がある。

④販売費及び一般管理費(連結)

単位:百万円

販管費／販管費率

	大手		準大手		中堅		総計	
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率
08年度3Q累計	249,820	5.1%	175,024	6.0%	109,101	7.4%	533,945	5.7%
09年度3Q累計	235,685	5.4%	168,160	6.5%	93,074	6.4%	496,919	5.9%
10年度3Q累計	227,197	6.6%	154,611	6.4%	89,238	6.8%	471,046	6.6%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	-5.7%	-3.9%	-14.7%	-6.9%
10年度3Q累計	-3.6%	-8.1%	-4.1%	-5.2%

- 販管費は、総計で対前年同期比約259億円減少した(うち「大手」は約85億円減少、「準大手」は約135億円減少、「中堅」は約38億円減少)。
- 販管費率は、販管費の削減が実施されたものの、それを上回る売上高の減少により、総計で0.7%ポイント増加した。

⑤ 営業利益（連結）

単位：百万円

営業利益／営業利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率
08年度3Q累計	20,275	0.4%	27,067	0.9%	-3,548	-0.2%	43,794	0.5%
09年度3Q累計	67,598	1.6%	35,887	1.4%	24,986	1.7%	128,471	1.5%
10年度3Q累計	91,609	2.7%	55,434	2.3%	18,910	1.5%	165,953	2.3%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	233.4%	32.6%	-	193.4%
10年度3Q累計	35.5%	54.5%	-24.3%	29.2%

- 営業利益は、売上総利益の改善と販管費の削減により、総計で3割近く増加したが、「中堅」は減収に伴う減益の影響が大きく、営業利益、営業利益率ともに前年同期を下まわった。

⑥ 経常利益（連結）

単位：百万円

経常利益／経常利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
08年度3Q累計	14,732	0.3%	14,100	0.5%	-7,553	-0.5%	21,279	0.2%
09年度3Q累計	85,224	2.0%	30,098	1.2%	22,351	1.5%	137,673	1.6%
10年度3Q累計	83,588	2.4%	46,651	1.9%	17,679	1.4%	147,918	2.1%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	478.5%	113.5%	-	547.0%
10年度3Q累計	-1.9%	55.0%	-20.9%	7.4%

- 経常利益は、「大手」「中堅」で減少したものの、「準大手」で大幅に回復した影響で、総計で前年同期を上回った。
- 円高の進行に伴う為替差損が多くの企業で計上され、経常利益へ大きなインパクトを与えている。総計で約151億円の計上されている。

⑦特別利益・特別損失の内訳(連結)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計		
	10年度3Q累計	09年度3Q累計	10年度3Q累計	09年度3Q累計	10年度3Q累計	09年度3Q累計	10年度3Q累計	09年度3Q累計	
特別利益	20,807	33,671	11,685	16,356	4,446	5,613	36,938	55,640	
主 な 内 訳	前期損益修正益	2,016	1,165	878	1,753	930	634	3,824	3,552
	投資有価証券売却益	3,662	13,252	840	5,069	230	836	4,732	19,157
	固定資産売却益	35	992	2,798	2,370	780	1,002	3,613	4,364
	貸倒引当金戻入	0	665	4,353	4,991	934	1,799	5,287	7,455
特別損失	15,101	13,280	9,714	21,699	11,963	15,658	36,778	50,637	
主 な 内 訳	前期損益修正損	0	0	326	867	369	188	695	1,055
	投資有価証券評価損	5,182	4,750	4,577	2,479	1,254	1,233	11,013	8,462
	投資有価証券売却損	781	0	0	241	6,260	54	7,041	295
	貸倒損失引当金	0	0	1,084	5,026	1,141	5,306	2,225	10,332
	割増退職金	0	0	577	609	0	43	577	652
	減損損失	4,365	2,213	521	2,145	972	4,030	5,858	8,388

- 特別損失は、投資有価証券評価損が昨年度から引き続き多く計上されている。

⑧当期純利益(連結)

単位:百万円

当期純利益／当期純利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
08年度3Q累計	-14,647	-0.3%	-39,947	-1.4%	-33,449	-2.3%	-88,043	-0.9%
09年度3Q累計	65,087	1.5%	15,930	0.6%	4,452	0.3%	85,469	1.0%
10年度3Q累計	53,051	1.5%	34,356	1.4%	3,035	0.2%	90,442	1.3%

対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
09年度3Q累計	-	-	-	-
10年度3Q累計	-18.5%	115.7%	-31.8%	5.8%

- 売上総利益の改善、販管費の削減等により各階層で黒字となった。但し、全39社中8社が当期純損失である(前年度同期は全39社中9社が純損失)。

⑨有利子負債（連結）

単位：百万円

有利子負債額

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	2,222,233	982,257	521,114	3,725,604
08年度末	1,795,451	825,168	484,829	3,105,448
09年度3Q末	2,281,163	893,605	467,154	3,641,922
09年度末	1,984,779	754,261	412,066	3,151,106
10年度3Q末	1,982,395	772,389	395,117	3,149,901

- 有利子負債額は、対前年同期比総計で約4,920億円減少した。（「大手」：約2,988億円減少、「準大手」：約1,212億円減少、「中堅」：約720億円減少）
- 対前年度末比では、総計で約12億円減少した。

⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	15.9%	21.7%	20.6%	18.4%
09年度3Q末	18.1%	25.4%	23.8%	21.1%
10年度3Q末	19.6%	28.0%	27.9%	23.4%

D/Eレシオ

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	1.82	1.06	1.13	1.43
09年度3Q末	1.81	0.96	1.03	1.37
10年度3Q末	1.66	0.83	0.83	1.21

※有利子負債/自己資本で算出

- 自己資本比率は、各階層で比率が上昇している。
- 有利子負債減少と自己資本増加に伴い、D/Eレシオは総計で0.16ポイント低下している。

注)自己資本比率は、今までの調査との継続性を重視し、「純資産」ではなく「自己資本」を総資産で割って算出

⑪ キャッシュフロー(連結)

単位:百万円

営業キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	▲ 456,509	▲ 268,941	▲ 59,958	▲ 785,408
09年度3Q末	▲ 315,858	▲ 98,151	50,499	▲ 363,510
10年度3Q末	6,157	▲ 52,207	20,930	▲ 25,120

投資キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	▲ 46,784	▲ 9,977	▲ 16,547	▲ 73,308
09年度3Q末	▲ 23,225	4,137	▲ 20,728	▲ 39,816
10年度3Q末	▲ 53,695	▲ 11,489	8,996	▲ 56,188

財務キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度3Q末	555,236	219,682	65,503	840,421
09年度3Q末	241,972	31,431	▲ 10,666	262,737
10年度3Q末	▲ 15,134	6,532	▲ 23,618	▲ 32,220

- 営業キャッシュフローは、「大手」でプラスに転じ、「準大手」でマイナス幅が減少している。